

現状・課題

- ・小規模特認校だからこそできる個を生かした教育活動
- ・小中連携による9年間を見通した資質・能力の育成
- ・地域と連携した小規模特認校の環境整備

取組内容

1 特色ある3つの教育活動

①自分のしたいことを学べる

- ・自由テーマの個別「探究」の時間を設定

②自分に最も合った学びができる

- ・小学校：自由進度学習を一部取り入れ
- ・中学校：「個別最適な学び」とゆるやかな「協働的な学び」の実現

③毎日を楽しめる自分になる

- ・自分自身を表現する力の育成
(俳句づくり、演劇、プレゼン、茶育等)



【個別「探究」の時間の学習活動】



1時間の授業時間 45分
10分 5分 25分 5分
ミニレッスン 目標設定 自由進度学習 あり返り

【自由進度学習を一部取り入れた授業展開】

本匠小・中の主なテーマ「ローカルにしてユニバーサルな視点に立った人材の育成」～地域と少人数の良さを最大限に生かしながら、主体性・当事者性の高揚とウェルビーイングの向上を図る～

2 小中連携による資質・能力の育成

①本匠小中9年間で育成を目指す資質・能力を設定

②共通テーマとグランドデザイン作成

③小中合同研修の日常化

- ・毎月1回開催
- ・「個別最適な学び」「個別探究の時間」「表現教育」の3部会

3 地域と連携した小規模特認校の環境整備

①地域協育コーディネーターと連携した体験活動の充実

- ・カヌー体験・鮎のちょんがけ
- ・生け花教室・芝桜の苗植え等

②「小規模特認校に向けた環境整備」について熟議

③学校運営協議会から市に対して財政支援等要望書提出

- ・家庭学習の定着：主体的に課題を選択し量的・質的に向上（本匠小）
- ・学力向上（本匠中）：全国学力・学習状況調査 国語正答率 R4:54%→R7:68%
- ・学びに向かう姿勢の醸成：R7全国学力・学習状況調査（国・算（数）・理）肯定的割合小中平均「勉強が好き」82.2%（全国 62.0%）「授業がよくわかる」97.6%（全国 78.1%）
- ・学校運営協議会の活性化：小規模特認校を生かした地域づくりについても熟議

成果

周囲の声より

- ・毎月の小中での研修を通じ「教師主導から児童生徒個々が主体となる授業（個別最適な学び）への転換」の必要性・重要性を実感し、日々改善に取り組んでいる。（教職員）
- ・学校が一人一人の子どもを大事にし、授業を工夫したり、体験活動を多く取り入れたりしてくれているおかげで、子どもが楽しく学校に通っている。（保護者）
- ・小規模特認校制度の成功、充実を願っている。そのための協力も惜しまない。（地域）

【導入を検討する学校へ】

- ・小・中で、児童生徒に身に付けさせたい力についての共通認識を持ち、9年間の一貫性を確保するために、月1回など定期の小中合同研修を重ねていく。
- ・児童生徒の主体的な学びや郷土愛を育むための基盤づくりを行うために、学校運営協議会委員や地域協育コーディネーターも含め、地域の力を最大限に活用する。